

修士課程

1. 修了要件

(1) 修了所要単位

哲学専攻専門科目から 20 単位以上修得したうえで、合計 30 単位以上修得する必要があります。他専攻科目も修了所要単位に含めることができますが、履修にあたっては、あらかじめ指導教員および授業担当教員より了解を得てください。

履修区分	修了所要単位
哲学専攻専門科目	20 単位以上
他専攻科目	
合計	30 単位以上

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

授業科目は年度毎に内容が変わります。年度毎に連続履修が可能です。

(3) セメスター制について

授業科目は、半期ごとの履修が可能です。科目により通年履修が望ましい場合があります。詳しくは担当教員の説明を参考にしてください。

2. 授業科目一覧

【連続】：前年度までに単位を修得した後も続けて履修できる科目

【重複】：同じ年度に同じ名称の科目を複数履修できる科目

【他専攻】：他専攻の学生が履修できる科目

授業科目	単位	連続	重複	他専攻	備考
言語分析哲学研究Ⅰ－１	2	○		○	
言語分析哲学研究Ⅰ－２	2	○		○	
言語分析哲学研究Ⅱ－１	2	○		○	
言語分析哲学研究Ⅱ－２	2	○		○	
形而上学研究Ⅰ－１	2	○		○	
形而上学研究Ⅰ－２	2	○		○	
古代哲学史研究Ⅰ－１	2	○		○	
古代哲学史研究Ⅰ－２	2	○		○	
古代哲学史研究Ⅱ－１	2	○		○	
古代哲学史研究Ⅱ－２	2	○		○	
論理学研究Ⅰ－１	2	○		○	
論理学研究Ⅰ－２	2	○		○	
近代倫理学史研究Ⅰ－１	2	○		○	
近代倫理学史研究Ⅰ－２	2	○		○	
近代倫理学史研究Ⅱ－１	2	○		○	
近代倫理学史研究Ⅱ－２	2	○		○	
中世哲学研究Ⅰ－１	2	○		○	
中世哲学研究Ⅰ－２	2	○		○	
近代ドイツ哲学史研究Ⅰ－１	2	○		○	
近代ドイツ哲学史研究Ⅰ－２	2	○		○	

近世西洋哲学研究Ⅰ－1	2	○		○	
近世西洋哲学研究Ⅰ－2	2	○		○	
近世西洋哲学研究Ⅱ－1	2	○		○	
近世西洋哲学研究Ⅱ－2	2	○		○	
近代西洋哲学研究Ⅰ－1	2	○		○	
近代西洋哲学研究Ⅰ－2	2	○		○	
近代フランス哲学史研究Ⅰ－1	2	○		○	
近代フランス哲学史研究Ⅰ－2	2	○		○	
ヨーロッパ精神史研究Ⅱ－1	2	○		○	
ヨーロッパ精神史研究Ⅱ－2	2	○		○	
法哲学研究 1	2	○		○	
法哲学研究 2	2	○		○	
哲学ドイツ語研究 1	2	○		○	
哲学ドイツ語研究 2	2	○		○	
哲学フランス語研究 1	2	○		○	
哲学フランス語研究 2	2	○		○	
哲学基礎研究Ⅰ	2	○		○	国際日本学と合同：西欧の思想Ⅰ
哲学基礎研究Ⅱ	2	○		○	国際日本学と合同：西欧の思想Ⅱ
日本思想史研究Ⅰ－1	2	○		○	
日本思想史研究Ⅰ－2	2	○		○	
日本思想史研究Ⅱ－1	2	○		○	
日本思想史研究Ⅱ－2	2	○		○	
現象学研究Ⅰ－1	2	○		○	国際日本学と合同：国際日本学演習Ⅰ／研究Ⅰ
現象学研究Ⅰ－2	2	○		○	国際日本学と合同：国際日本学演習Ⅱ／研究Ⅱ

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2026年度休講です。

3. 講義概要（シラバス）

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL： <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 修了要件

【2017年度以降入学者】

(1) 修了所要単位

課程修了には、3年以上在学し、以下の修了所要単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。

履修区分	修了所要単位	備考
必修科目	12単位	履修にあたっては、下記「(2) カリキュラムおよび履修上の注意」を参照のこと。
選択必修科目	8単位以上	
選択科目	原則修了要件外	
自由科目	修了要件外	
合計	20単位以上	

(2) カリキュラムおよび履修上の注意

①必修科目について

科目名	単位	履修方法
哲学特殊研究 1	2	指導教員が担当する「哲学特殊研究 1・2」で修了所要単位を満たすこと。(修了所要単位に含めることができるのは12単位まで)
哲学特殊研究 2	2	

②選択必修科目について

修士課程との合同授業です(下表参照)。指導教員以外の教員が担当する科目を履修してください。指導教員が担当する科目の単位を修得した場合、修了所要単位に含めることはできません。また、同一科目を異なる年度で複数回履修した場合、重複分は修了所要単位に算入されません。

科目名	合同科目名	単位
言語分析哲学特殊講義 1	修士：言語分析哲学研究 I - 1	2
言語分析哲学特殊講義 2	修士：言語分析哲学研究 I - 2	2
古代哲学史特殊講義 1	修士：古代哲学史研究 I - 1	2
古代哲学史特殊講義 2	修士：古代哲学史研究 I - 2	2
論理学特殊講義 1	修士：論理学研究 I - 1	2
論理学特殊講義 2	修士：論理学研究 I - 2	2
近代倫理学史特殊講義 1	修士：近代倫理学史研究 I - 1	2
近代倫理学史特殊講義 2	修士：近代倫理学史研究 I - 2	2
中世哲学特殊講義 1	修士：中世哲学研究 I - 1	2
中世哲学特殊講義 2	修士：中世哲学研究 I - 2	2
近代ドイツ哲学史特殊講義 1	修士：近代ドイツ哲学史研究 I - 1	2
近代ドイツ哲学史特殊講義 2	修士：近代ドイツ哲学史研究 I - 2	2
近世西洋哲学特殊講義 1	修士：近世西洋哲学研究 I - 1	2
近世西洋哲学特殊講義 2	修士：近世西洋哲学研究 I - 2	2
比較思想特殊講義 1	修士：比較思想研究 I - 1	2
比較思想特殊講義 2	修士：比較思想研究 I - 2	2
近代フランス哲学史特殊講義 1	修士：近代フランス哲学史研究 I - 1	2
近代フランス哲学史特殊講義 2	修士：近代フランス哲学史研究 I - 2	2
超越論哲学特殊講義 1	修士：超越論哲学研究 I - 1	2
超越論哲学特殊講義 2	修士：超越論哲学研究 I - 2	2
法哲学特殊講義 1	修士：法哲学研究 1	2

科目名	合同科目名	単位
法哲学特殊講義 2	修士：法哲学研究 2	2
現象学特殊講義 1	修士：現象学研究 I - 1	2
現象学特殊講義 2	修士：現象学研究 I - 2	2
日本思想史特殊講義 1	修士：日本思想史研究 I - 1	2
日本思想史特殊講義 2	修士：日本思想史研究 I - 2	2

③ 選択科目について

人文科学研究科他専攻の博士後期課程設置科目を選択科目として履修できます。選択科目の修得単位は、原則修了要件外ですが、4 単位まで選択必修科目として認定することができます（ただし同一科目を複数履修した場合の重複分は修了要件外）。なお、履修にあたっては、あらかじめ指導教員及び授業担当教員より了解を得てください（口頭で構いません）。

④ 自由科目について

修士課程設置科目を自由科目として履修することができますが、修了要件には含まれません。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

2. 授業科目一覧

【連続】：前年度までに単位を修得した後も続けて履修できる科目

【重複】：同じ年度に同じ名称の科目を複数履修できる科目

【他専攻】：他専攻の学生が履修できる科目

授業科目	単位	連続	重複	他専攻	備考
哲学特殊研究 1	2	○			
哲学特殊研究 2	2	○			
言語分析哲学特殊講義 1	2	○		○	修士と合同 教員によって国際日本学と合同 連続履修は可能であるが、2 回目以降の履修分の 単位は修了要件には含まれない
言語分析哲学特殊講義 2	2	○		○	
古代哲学史特殊講義 1	2	○		○	
古代哲学史特殊講義 2	2	○		○	
論理学特殊講義 1	2	○		○	
論理学特殊講義 2	2	○		○	
近代倫理学史特殊講義 1	2	○		○	
近代倫理学史特殊講義 2	2	○		○	
中世哲学特殊講義 1	2	○		○	
中世哲学特殊講義 2	2	○		○	
近代ドイツ哲学史特殊講義 1	2	○		○	
近代ドイツ哲学史特殊講義 2	2	○		○	
近世西洋哲学特殊講義 1	2	○		○	
近世西洋哲学特殊講義 2	2	○		○	
近代フランス哲学史特殊講義 1	2	○		○	
近代フランス哲学史特殊講義 2	2	○		○	
法哲学特殊講義 1	2	○		○	
法哲学特殊講義 2	2	○		○	
現象学特殊講義 1	2	○		○	
現象学特殊講義 2	2	○		○	
日本思想史特殊講義 1	2	○		○	
日本思想史特殊講義 2	2	○		○	

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2026 年度休講です。

3. 講義概要（シラバス）

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>